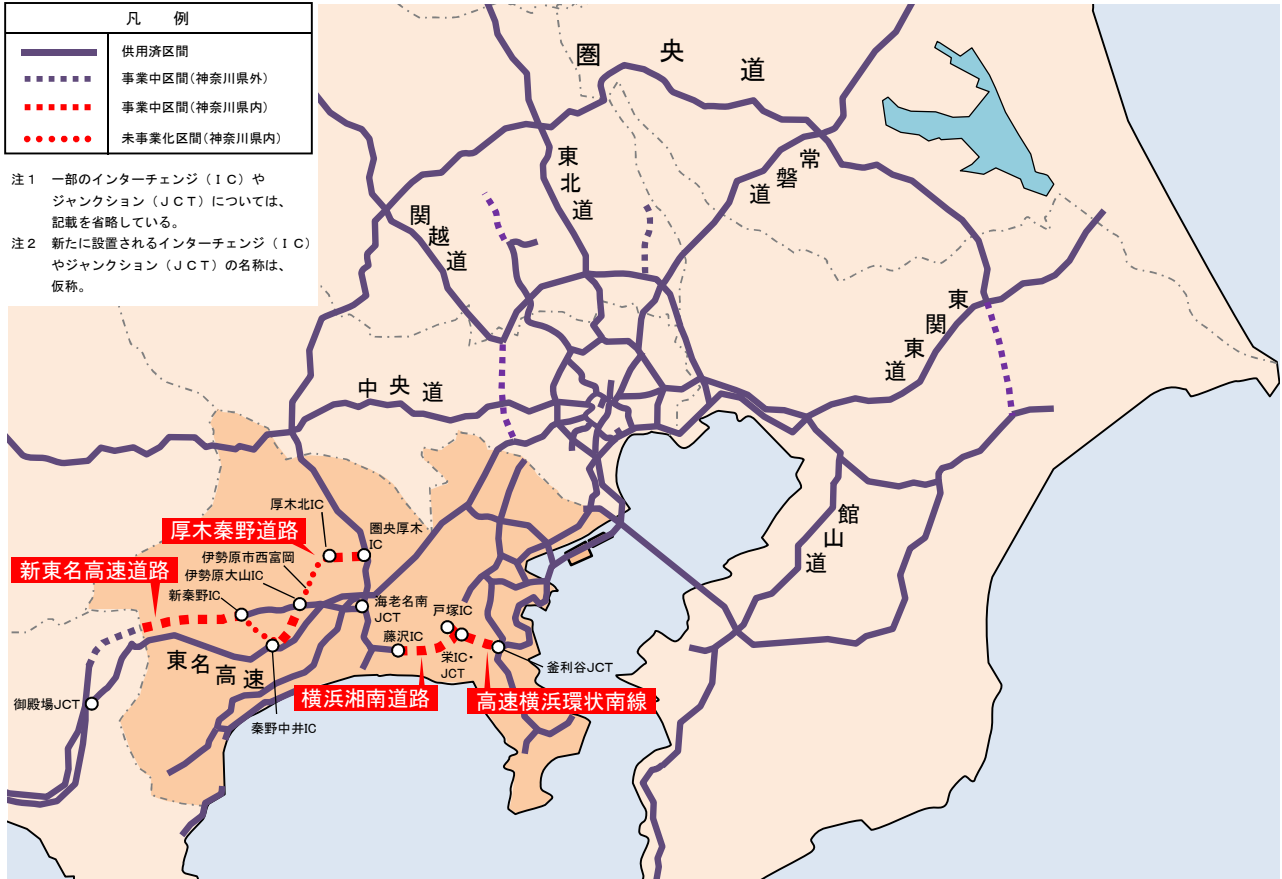


凡 例	
	供用済区間
	事業中区間(神奈川県外)
	事業中区間(神奈川県内)
	未事業化区間(神奈川県内)

注1 一部のインターチェンジ（IC）やジャンクション（JCT）については、記載を省略している。

注2 新たに設置されるインターチェンジ（IC）やジャンクション（JCT）の名称は、仮称。



## 首都圏中央連絡自動車道（圏央道）

圏央道は、都心から約40km～60kmの位置で、東名高速道路などの放射状道路をつなぐ環状道路です。

この道路は、沿線都市間の連絡を強化するほか、都心部へ流入する交通を適切に分散し、道路交通を円滑化することにより、経済活動の活性化、観光地の発展、周辺地域の環境改善等に寄与する重要な道路です。

圏央道の神奈川県内区間は、「さがみ縦貫道路」「横浜湘南道路」「高速横浜環状南線」の3路線で構成されており、このうち、さがみ縦貫道路は平成27年3月に全線が開通しました。

また、平成29年2月の茨城県区間の開通により、現在、圏央道は全体の9割が供用されており、神奈川県では、北関東方面などからの観光客の増加や、沿線地域における企業立地の促進など、多様なストック効果が発揮されています。（P8、10）

こうした効果をさらに高めていくためにも、横浜湘南道路や高速横浜環状南線の早期整備が望まれています。

### 横浜湘南道路・高速横浜環状南線

横浜湘南道路と高速横浜環状南線は、さがみ縦貫道路などと一体となって、横浜の湾岸エリアや三浦半島と湘南・県央地域の連絡を強化する重要な道路です。

横浜湘南道路は（仮称）栄IC・JCTから藤沢ICまでの約7.5kmの区間、高速横浜環状南線は釜利谷JCTから（仮称）戸塚ICまでの約8.9kmの区間で、現在、工事などが実施されています。

（仮称）栄IC・JCT周辺の整備状況

